

	成果	課題
視点1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で「悪いとおもっていてもやってしまうことある?」「例えば廊下を走っちゃったことある人?」→自分の経験に基づいて考えることでスムーズにその先の学習に進むことができる。</li> <li>・挿絵を使うことでぼんたやかんたの気持ちを考えやすくなる。(視覚情報)(表情などから読み取ることできる)</li> <li>・ぼんたの帽子を用意することで、学習に意欲的に参加する児童の様子が多く見られた。また、自分のこととして課題を捉えることができる。</li> <li>・役割演技のときの帽子が子どもたちはとてもうれしそうだった。</li> </ul> <p>&lt;意見の交流について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場の設定の工夫。友達の顔が見えて発言がよく聞こえる。</li> <li>・先生と子供たちの温かな関係や語りかけがとてもよかった。</li> <li>・「行きたい気持ちはないの」「先生だったら断れないかも」とゆさぶりのある発問で子供たちの本音を出させた。</li> </ul> <p>&lt;書く活動について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動や意見の交流の場の設定は大切。書く内容は1年生としては十分。子どもたちはよく書いていた。書かせる時間もよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料はいつ読んでいたのか。普段の道徳でもこのような形で行っているのか。</li> <li>・資料の事前読みはいらぬのではないか。</li> <li>・新鮮さがなく、子供たちの意欲・関心が低下してしまう。1時間で勝負したい。</li> <li>・自分の考えより、登場人物の気持ちとして考えさせたほうがよかったのでは。自分のことを話すより本音を出しやすいのでは。</li> <li>・価値の把握。善悪の判断でなく友情に流されてしまった。きまりを守る。危険などに目を向けさせる必要。</li> <li>・「自分で考えて決めた」考えさせ方の工夫が必要だった。</li> </ul> <p>→価値について考えさせるためには視点を1つに絞ったり、資料提示によって視点をどうもっていくかを考えたりする。資料の生かし方によって授業構成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を書かせ、どんな意見を交流させるかを吟味する。</li> </ul>
視点2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりの活動は大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を書かせるかを吟味する。</li> </ul>

